

MOBILE SUIT
MSA-003

NEMO

A.E.U.G. MASS-PRODUCTIVE
MOBILE SUIT



反地球連邦政府組織 (エウーゴ)
量産モビルスーツ
MSA-003「ネモ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

MSA-003 NEMO

A.E.U.G. MASS-PRODUCTIVE MOBILE SUIT



反地球連邦政府組織 (エウーゴ)
量産モビルスーツ
MSA-003「ネモ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2006 MADE IN JAPAN

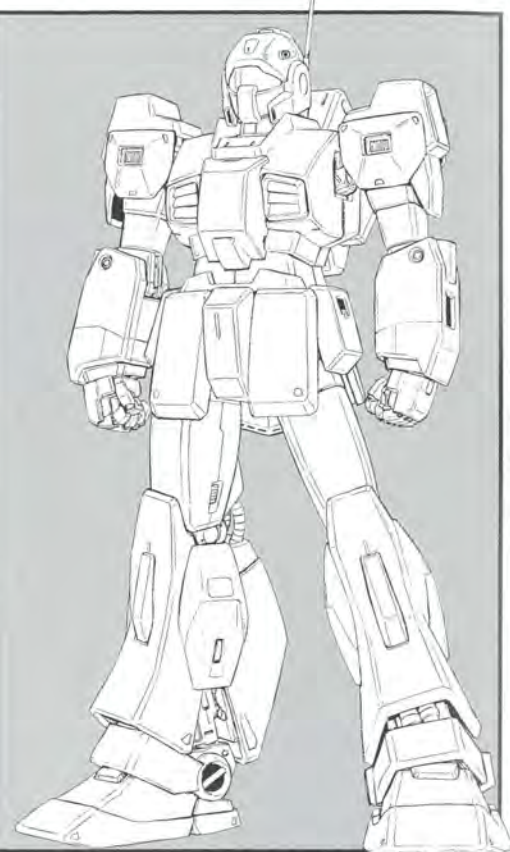


0141042

MSA-003 NEMO

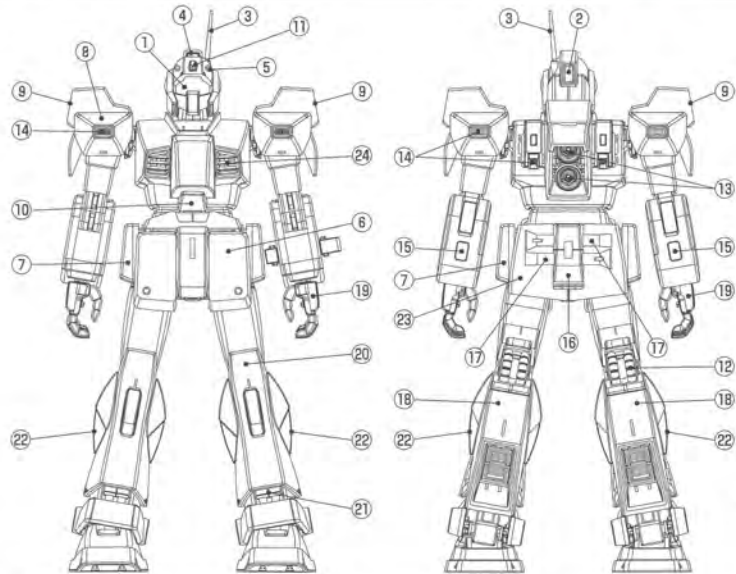
「MSA-003 ネモ」は、エゥーゴとAE(アナハイム・エレクトロニクス社)が共同開発した量産MSである。当初、量産機の雛型として開発されたRMS-099 リック・ディアスは、コストダウンが困難であったため本格的な量産は見送られ、RMS-108 マラサイは、政治的な判断でティターンズに譲渡される事となった。その代替機として、AEはエゥーゴにジム系の発展型であるネモを供給することになったとされる。

グリプス戦役の進展に伴い、ティターンズが、その権勢と潤沢な財源を背景に続々と新機を調達したのに対し、エゥーゴの財政状況は、ただでさえ金喰い虫の「Zプロジェクト」によって逼迫し、本来であればRGM-79R ジムIIの適性配備すら覚束ない状態であった。しかし、この状況下においてAEはエゥーゴのためにネモを量産した。ティターンズの台頭が「エゥーゴのメインスポンサーとしてのAE」にとって脅威だったのみならず、「企業としてのAE」にとってネモの量産にメリットがあったからだ。Zガンダムを含むTMS(Transformable Mobile Suit=可変MS)などのハイエンド機は、確かにMSという機動兵器を更なる高みへと導くものであるが、必要な技術分野の裾野は非常に広大で、その企業や組織の基礎体力(この場合はAEが擁する資本規模や工業力、技術力)が充実していなければならない。よく「ネモはジムIIの発展型である」と言われ、その違いは微々たるものとされているが、実際の基礎スペックには雲泥の差がある。事実、ジムIIは旧式機に近代化改装を施しただけの機体だが、ネモは当時の最先端技術の粋を凝らした最新型であり、同一のコンポーネントで宇宙空間から重力下まで、さらに熱帯地域から寒冷地や高地までを活動域とすることができる。これは、リック・ディアスや百式の生産を経た上で設計された基本フレームの汎用性が非常に高いためである。またネモに採用された装甲系の部材は、マラサイ生産の時点で確立されたガンダリウムγの量産化技術を生かし、更なる高性能化とコストダウンを実現している。MSの量産には、その技術レベルの製品を「普通の製品」として生産できるノウハウと技術力が不可欠である。例えば、高性能なレースカーを開発するためには、安定した大衆車の生産能力が必要であるように、「Zプロジェクト」におけるような超高性能を開発するための技術的な蓄積は、過去の設計図やデータがあれば事足りるという物ではなく、ネモの量産によって恒常的に生産能力を維持し続けることがAEにとって必要だったのだ。ネモをしてグリプス戦役期の「最もバランスのとれたMS」とする評価は至極正当なものであり、技術的な側面に限れば、ネモは新世代量産機のリファレンスを創り上げたといっても過言ではない。



Conceptual illustration : Katoki Hajime

MSA-003 NEMO



- | | | | | |
|-------------|----------------|-------------------|----------------|---------------|
| ①メインカメラ | ⑦サイドアーマー | ⑬パニアスラスター | ⑲マニピュレーター | ⑳アクュート |
| ②リアセンサー | ⑧ショルダーアーマー | ⑭サブスラスター | ⑳ニアアーマー | ㉑サスペンドフック |
| ③マルチロッドアンテナ | ⑨ショルダーパニアスラスター | ⑮マウントラッチ | ㉒アクチュエーターシリンダー | ㉒フォールディンググリップ |
| ④サブセンサー | ⑩コクピットハッチ | ⑯サーベルホルダー | ㉓マイクロスラスター | ㉓グリップ |
| ⑤60mmバルカン | ⑪マルチプルセンサーアレイ | ⑰ビーム・サーベルユニット | ㉔リアアーマー | ㉔チャリングバー |
| ⑥フロントアーマー | ⑫パワーサプライヤー | ⑱コンフォーマルプロペラントタンク | ㉕インテーク/ダクト | ㉕ナローレンジセンサー |

注) MSA-003 ネモは、U.C.0087年4月以降エゥーゴに配備されはじめ、その後、エゥーゴやカラバの各部隊に配備されていた。同機は同年11月のカラバによるキリマンジャロ攻略作戦展開中にも大量に動員され、高山特有の環境にもほぼ無改造で対応し、高低差のある戦線においても存分に機能する優秀さを見せつけた。

注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。<鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。>
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

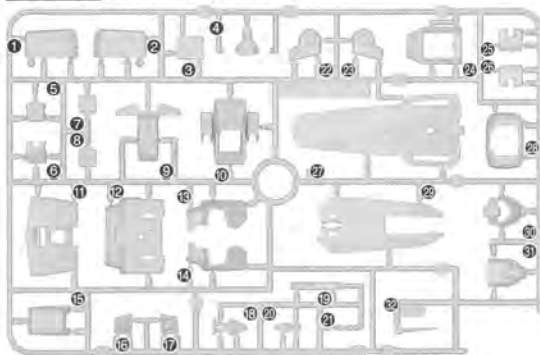
組立てる時の注意

- 組立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。*ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

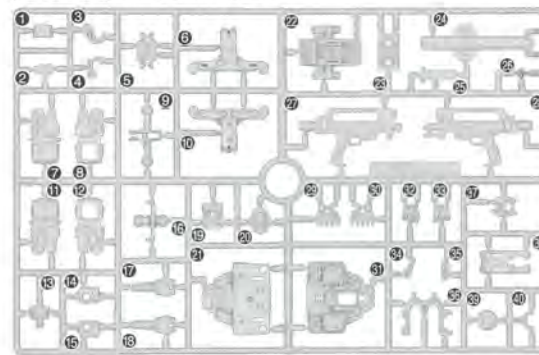
・切取る時	・シールの剥離	・アタールの剥離	・設計図に切り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る時	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・先に組み立てます	・向きに合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動きます

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



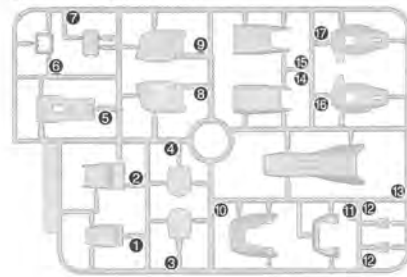
Bパーツ (ABS樹脂: ABS)



Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



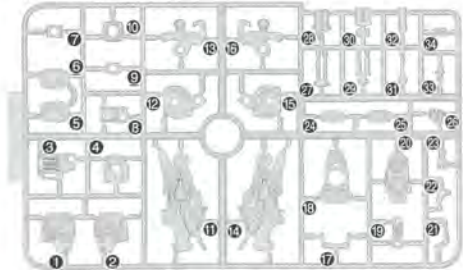
Dパーツ (×2) (スチロール樹脂: PS)



Eパーツ (×2) (スチロール樹脂: PS)



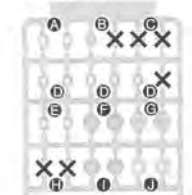
Fパーツ (×2) (ABS樹脂: ABS)



SB1パーツ (スチロール樹脂: PS)



(PC-126) (ポリエチレン: PE)



マーキングシール……1枚
ガンダムデカール……1枚

【部品表】 PARTS LIST
【基本説明】 HOW TO
【胸部】1 BODY UNIT
【頭部】2 HEAD UNIT
【腕部】3,4,5 ARM UNIT
【腰部】6 WAIST UNIT
【脚部】7,8,9 LEG UNIT
【完成】10 FINAL ASSEMBLY
【武器】11,12 WEAPONS
【武器の装備】13 WEAPONS EQUIPMENT
【シール】 SEAL

組み立て前の基本説明

必要な道具

〈ニッパー(プラスチック用)〉
・パーツをランナーから切りはなしてゲートを取るのに使います。

〈ピンセット〉
・小さい部品を取り付けたりシールを貼るのに便利。

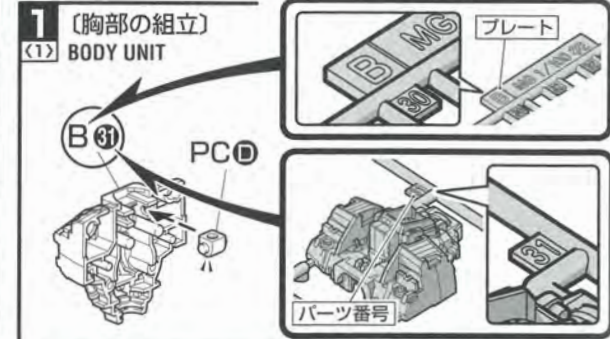


〈はさみ〉
・ガンダムデカールを切りはなす際に使います。

※この商品に道具類は入っていないので、別にご用意ください。

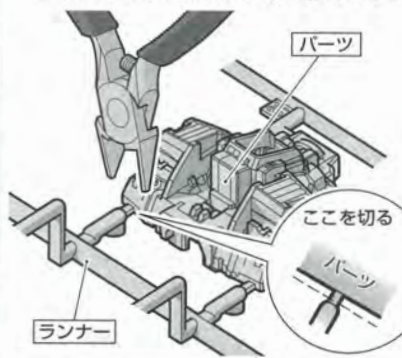
説明書の見かた。

説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリストと合わせて見ると、探しやすいです。)

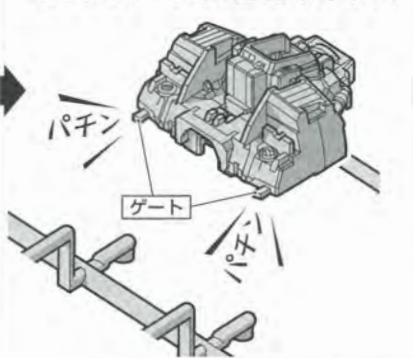


パーツの切り取りかた。

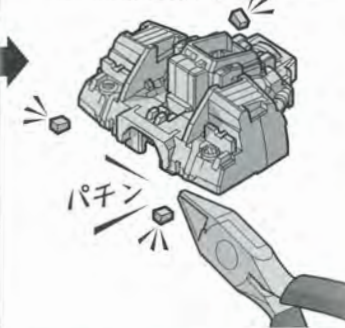
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

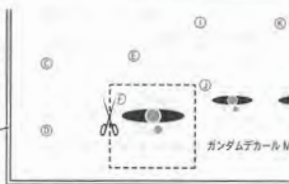


③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



ガンダムデカールの貼りかた。

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



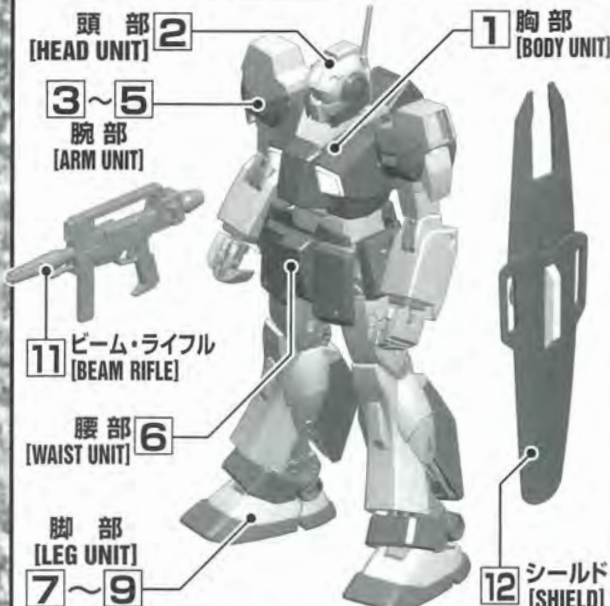
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。



③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

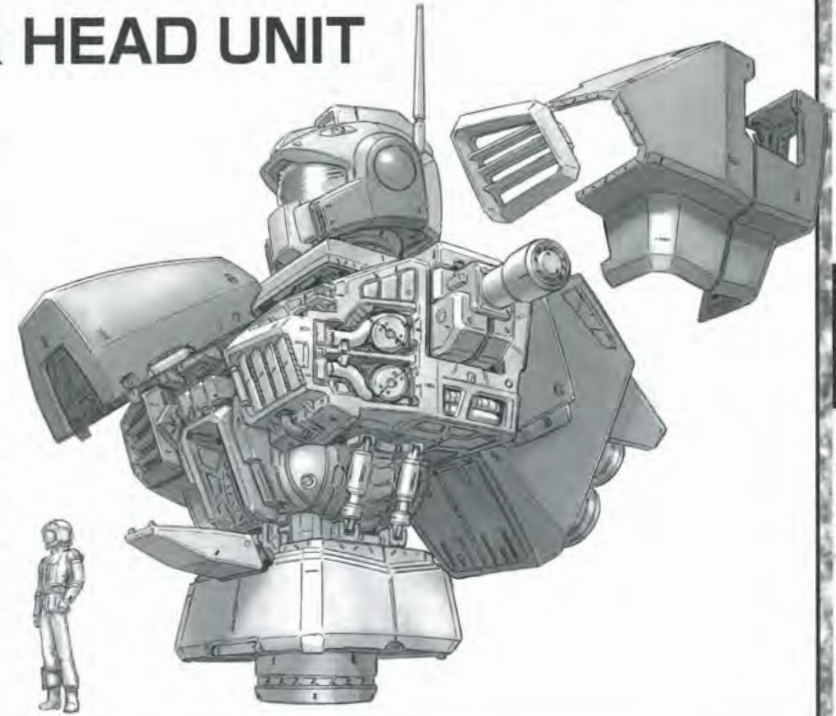
説明書をよく読んで完成させましょう。



BODY UNIT & HEAD UNIT

ネモのボディユニットは、公国系の技術をベースとしながら、連邦系に近い機能とシルエットを獲得している。これは、かつての「ガンダム開発計画」からリック・ディアスを経て百式に至り、ムーバブル・フレームが洗練される過程において達成されたものである。

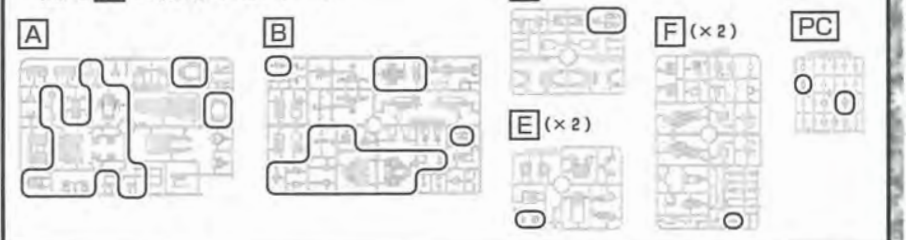
ネモはいわゆるジム系の機体とされているが、実際には公国系の技術系譜による機体であると言える。一年戦争当時、双方のMSの特徴は、モノコックあるいはセミ・モノコックなどの躯体構造によって明確に分類できたのだが、戦後は双方の技術融合が進み、ムーバブル・フレームの始祖にあたる発想自体、一年戦争末期にはすでに存在していたと言われている。グリプス戦役の頃ともなると、「ガンダム開発計画」の挫折で沈静化していた技術融合が再び積極的に計られるようになり、外装と内部構造は積極的にユニット化され、機体の汎用性と整備性は格段に向上した。ネモはその傾向がもっとも顕著な機体のひとつであり、コックピット周りやメインジェネレーターを含む機体内での占有容積は、それまでに開発されたどの主力MSよりもコンパクトにまとめられている。



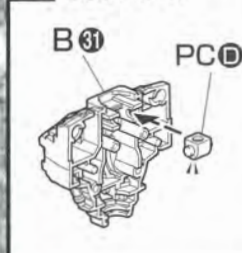
1 BODY UNIT



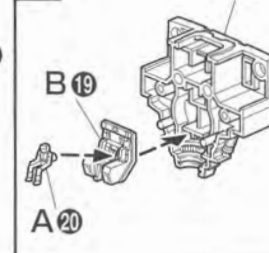
・組立 1 で使用するパーツ



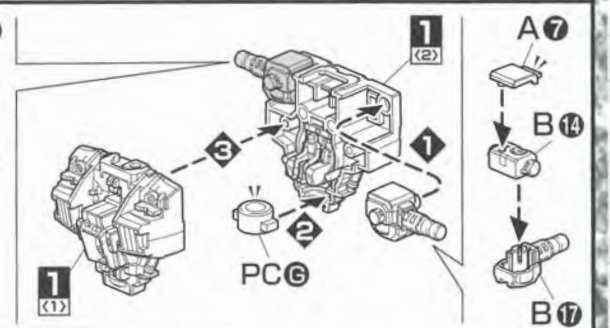
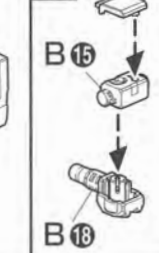
1 胸部の組立



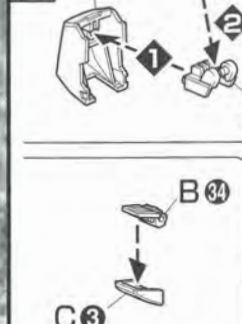
1 腕部の組立



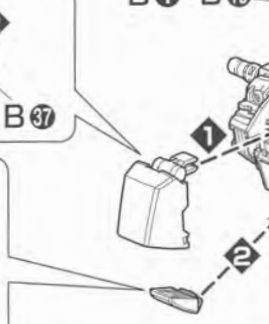
1 腕部の組立



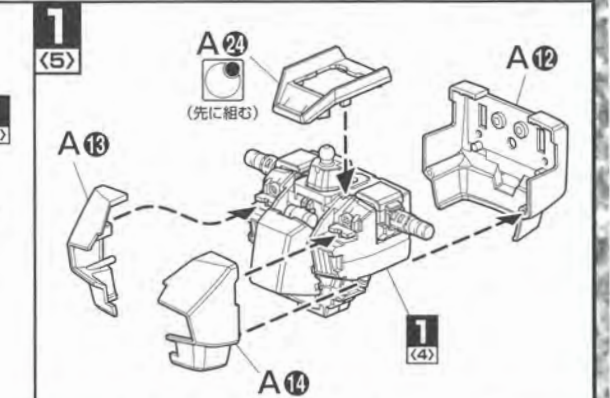
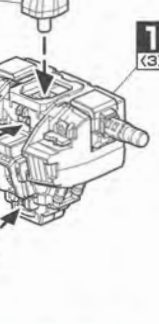
1 腕部の組立



1 腕部の組立

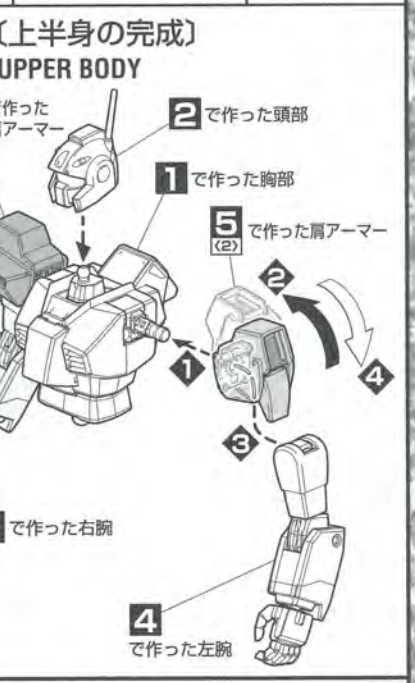
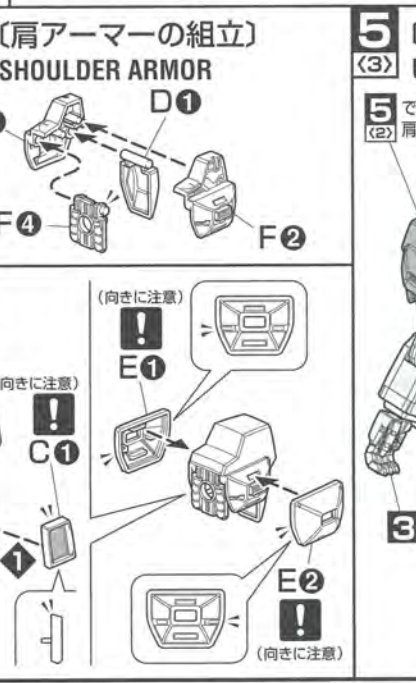
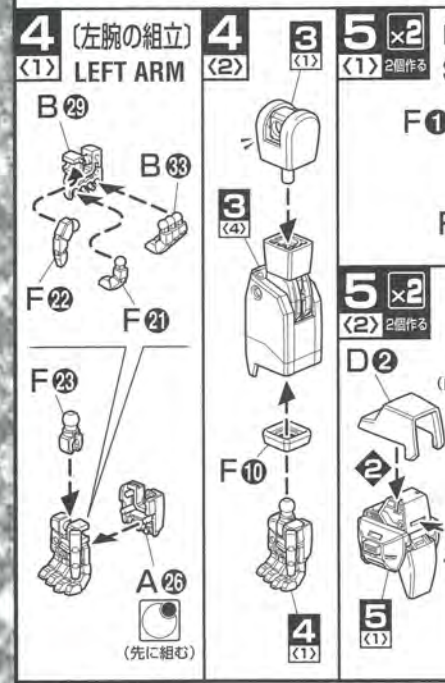
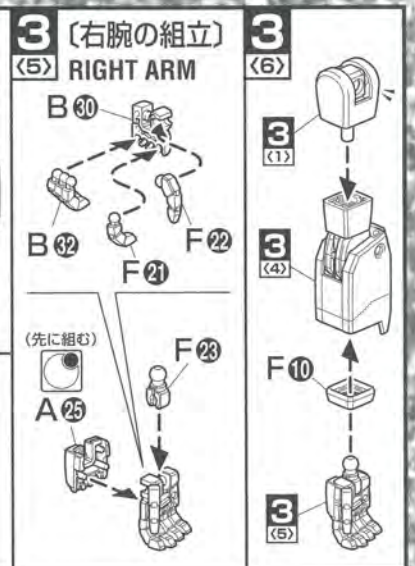
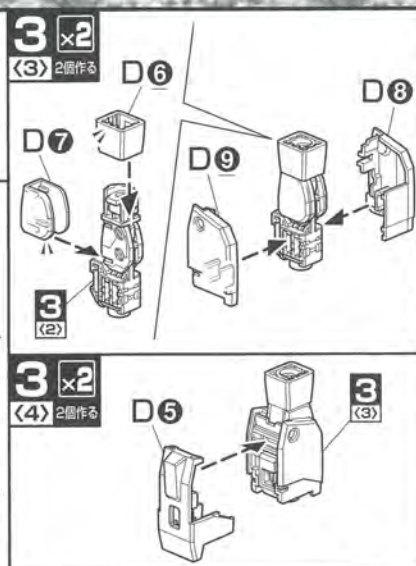
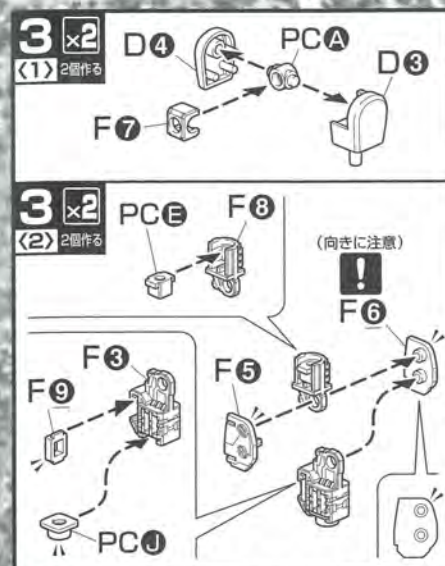
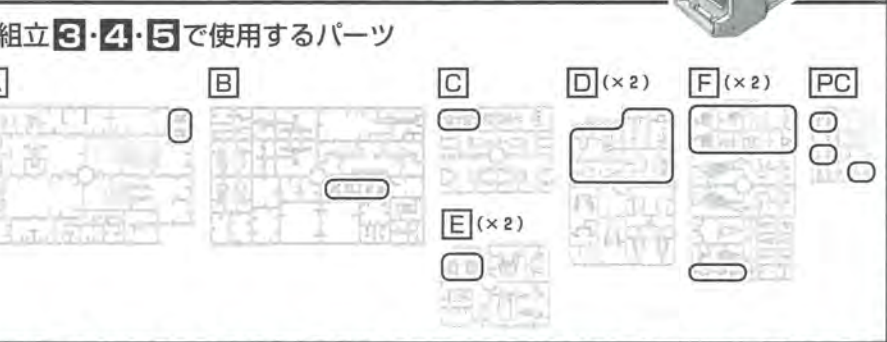
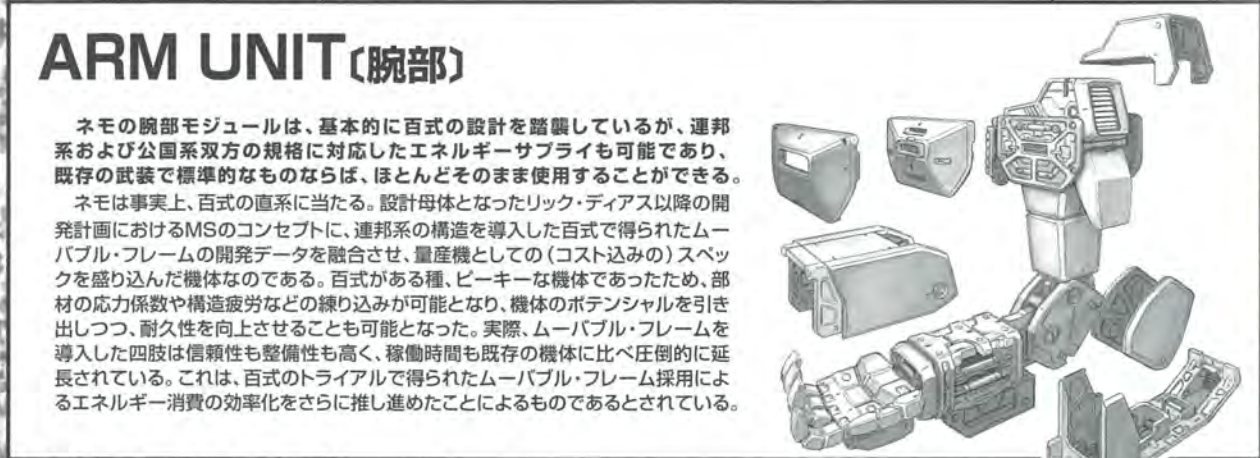
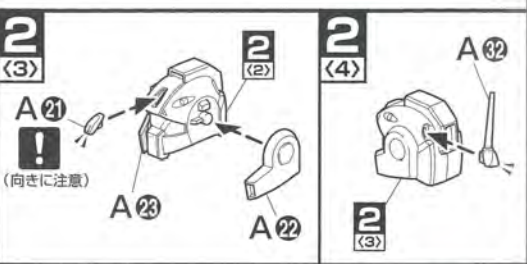
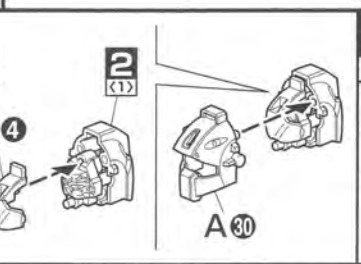
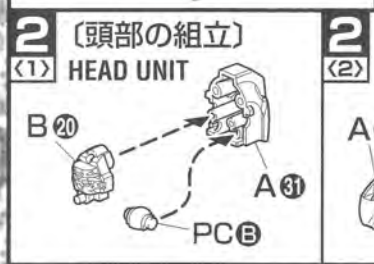
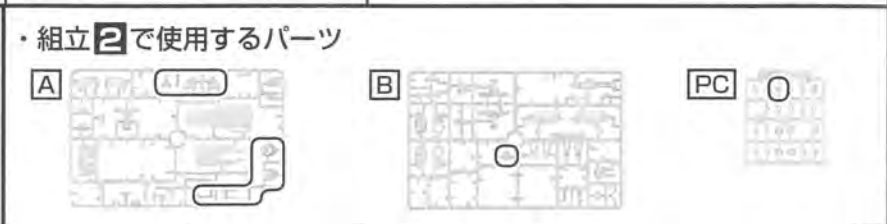
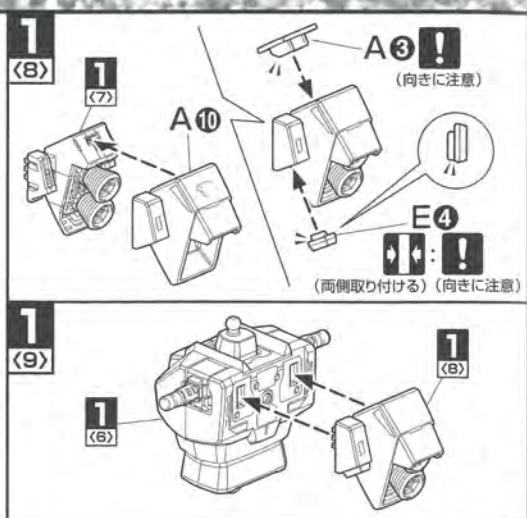
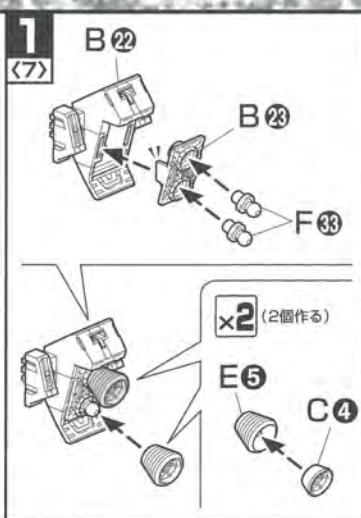
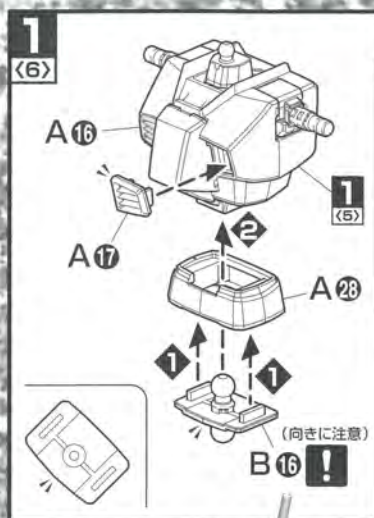


1 腕部の組立



【部品表】 PARTS LIST
【基本説明】 HOW TO
【胸部】 1 BODY UNIT
【頭部】 2 HEAD UNIT
【腕部】 3 4 5 ARM UNIT
【腰部】 6 WAIST UNIT
【脚部】 7 8 9 LEG UNIT
【完成】 10 FINAL ASSEMBLY
【武器】 11 12 WEAPONS
【武器の装備】 13 WEAPONS EQUIPMENT
【シール】 SEAL

【部品表】 PARTS LIST
【基本説明】 HOW TO
【胸部】 1 BODY UNIT
【頭部】 2 HEAD UNIT
【腕部】 3 4 5 ARM UNIT
【腰部】 6 WAIST UNIT
【脚部】 7 8 9 LEG UNIT
【完成】 10 FINAL ASSEMBLY
【武器】 11 12 WEAPONS
【武器の装備】 13 WEAPONS EQUIPMENT
【シール】 SEAL



DEFENSE OF BACK

「あれがネモか…」アンマンへの寄港以来、アーガマ隊にも配備されるようになった量産MSネモは、エウゴの主力として不可欠の機体となっていた。折しも連邦政府総会を目前に控え、エウゴ、ティターンズともに政治的な工作や武力による示威行動などを展開し、それぞれの思惑を錯綜させていた。あらゆる事態に対応すべく、ネモの適正配備はエウゴにとって急務であった。先鋒たるアーガマ隊のMSデッキでも、ネモはZガンダムや百式などと並べられていた。ネモ隊に後方を任せることができるからこそ、カミーユもクワトロも後顧の憂いなく戦うことができるのだ。U.C.0087年8月。ティターンズは月面都市フォン・ブラウンを制圧すべく「アポロ作戦」を展開する。アーガマ隊は、フォン・ブラウン防衛のためラーディッシュと合流。ネモ、リック・ディアスが居並ぶMSデッキに出撃を伝えるサイレンが響きわたる!



OFFENSIVE AND DEFENSIVE BATTLE

コロニーレーザーのグリプス2を巡る三つどもえの攻防戦は熾烈を極めていた。シロッコ率いるティターンズ艦隊を掃討するためには、コロニーレーザーを防衛する必要がある。アクシズを牽制するためにも、エウゴはグリプス2を守り切らなければならない。すでに僚艦のラーディッシュは沈んでいる。「カミーユをレーザー砲の守りに回らせろ!」孤立無縁のアーガマは、自ら陥りながら敵を引きつけつつ、ブライはコロニーレーザーの発射準備を進める。そんなさなか、艦砲の射線とMSのビームが交錯する間隙を縫って、ジ・Oと百式、キュベレイがグリプス2のシリンダーに突入する。そしてそれを追ってZガンダム、メタスが続く。まるで劇場じみた状況が展開する戦闘の最先端をよそに、ティターンズ艦隊をグリプス2の射軸に封じ込めるため、また、コロニーをこれ以上破壊させないため、無数のネモが敵を打ち、あるいは自らが光芒と化して散っていった……。

DAY WHEN COLONY FALLS

サイド4の無人コロニー277パンチがティターンズの手によって軌道を変え、月の裏側の月面都市グラナダへの落下コースに乗った。ティターンズの暴虐に対し、エウゴが対抗し得る力であることを証明するため、市民に避難勧告を出すわけにはいかない。腹を据えたウオンたちは、自分たちが育てたエウゴに運命を託す。アーガマから、そして僚艦のラーディッシュから続々とMSが出撃する。グラナダに落ちるコロニーのコースを変えることができなければ、エウゴは敗北を喫することになる。人類全体にとっても未来はない。無人コロニーの周辺にはアレキサンドリアから出撃した部隊が展開し、ヤザン率いるMS部隊は、アーガマのMS部隊の迎撃に出ている。その激戦の後方では、ティターンズのMS部隊を抑えるべく、ネモの編隊が奮戦を繰り返している。



PAINTING

- ※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。
 ●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
- | | |
|---|--|
| 本体等グリーン部の塗装色。
ティナグリーン(80%) + スカイブルー(30%) + インディブルー(10%) | 関節等グレー部の塗装色。
ニュートラルグレー(90%) + ブラック(10%) |
| 胸等ダークブルー部の塗装色。
ブルー(50%) + ホワイト(20%) + ブラック(15%) + レッド(15%) | ビームライフル フルークレー部の塗装色。
ブルー(50%) + ミディウムブルー(30%) + ブラック(15%) + レッド(5%) |
| インテーク等イエロー部の塗装色。
イエロー(45%) + ホワイト(35%) + オレンジ(20%) | ビームライフル センサー部の塗装色。
ピンク(100%) |
| パーニア内部等レッド部の塗装色。
レッド(85%) + ブラウン(15%) | 後頭部センサー オレンジ部の塗装色。
シルバー(100%)の上に重ねてクリアーオレンジ(80%) + スモークグレー(20%) |

- パイロット**
- | | |
|---|---------------------------------------|
| パイロットスーツ イエロー部の塗装色。
イエロー(55%) + ホワイト(40%) + オレンジ(5%) | バイザー フルークレー部の塗装色。
インディブルー(100%) |
| ベルト等ブラウン部の塗装色。
レッドブラウン(100%) | ランドセル ライトブルー部の塗装色。
エアクラフトブルー(100%) |



- ▲ 劇中のムーバブル・フレームを再現。関節等のディテール、各装甲の合わせ目やノズル等の断面厚のリアリティを追求。シリンダーはフレームの動きに合わせてスライド。足首の分割可動と合わせ、より自然なポージングが可能。
- ▲ 肩関節は上下前後の二軸可動。膝、肘関節は二重関節を採用し、広い可動範囲を実現。手首パーツは180°の範囲で可動。

CUSTOM MODEL キミだけのカスタムモデルに仕上げよう!!

■メカニック表現にチャレンジ!! ■名シーンを再現!!

このバリエーションシステムを装着してみよう!

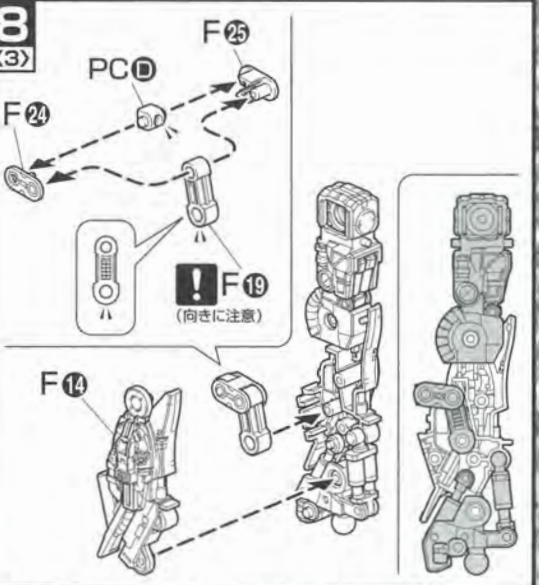
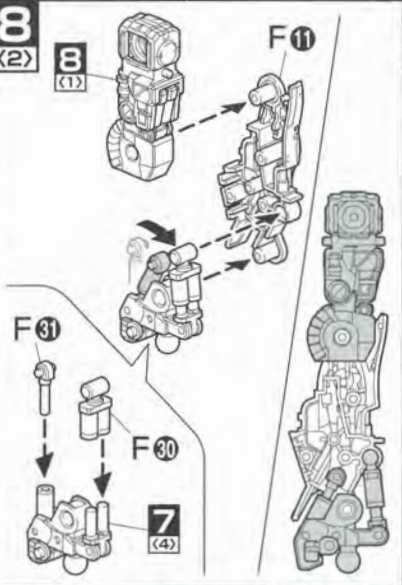
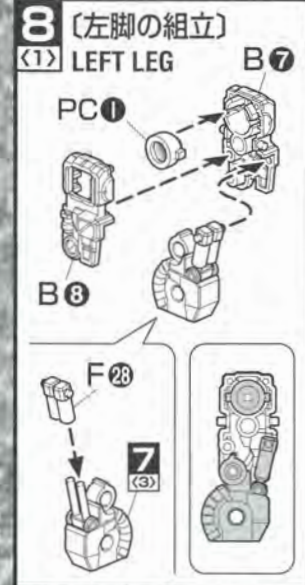
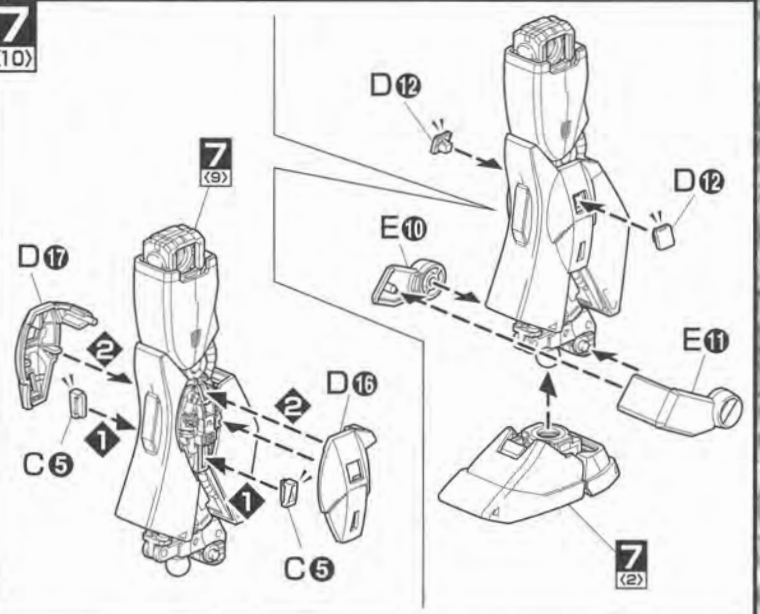
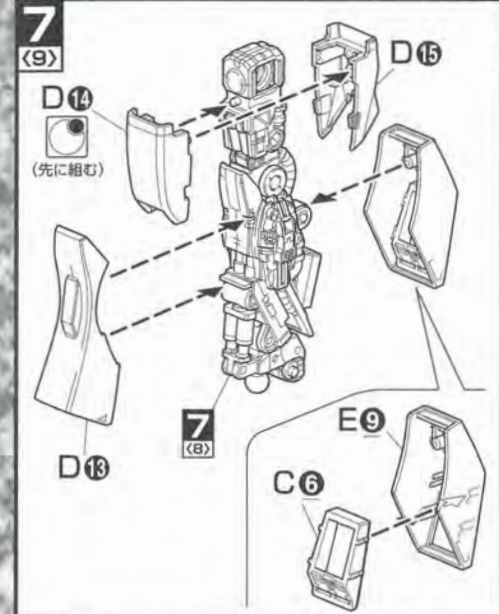
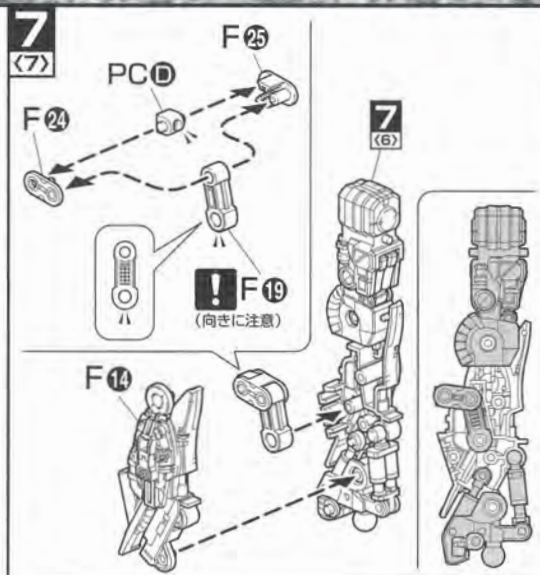
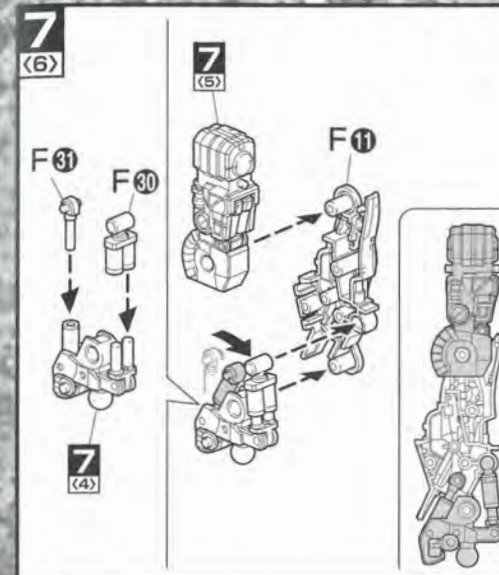
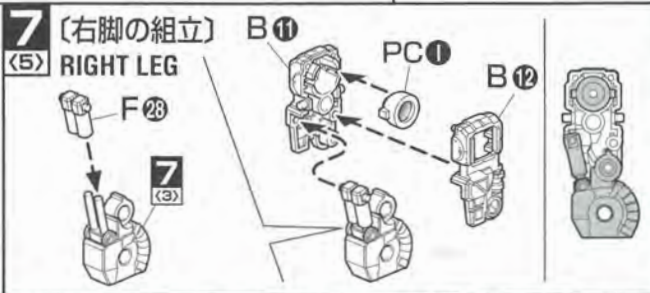
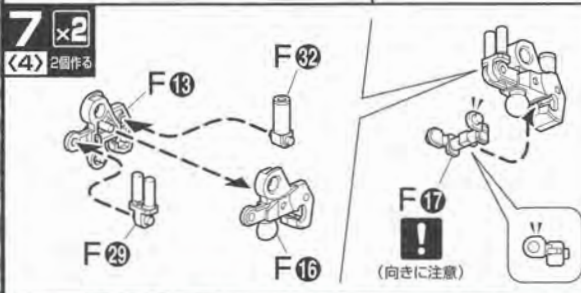
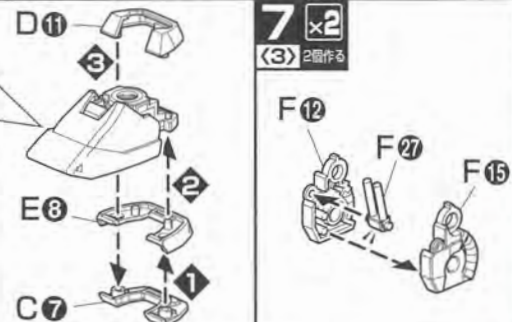
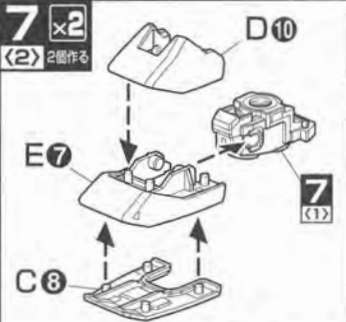
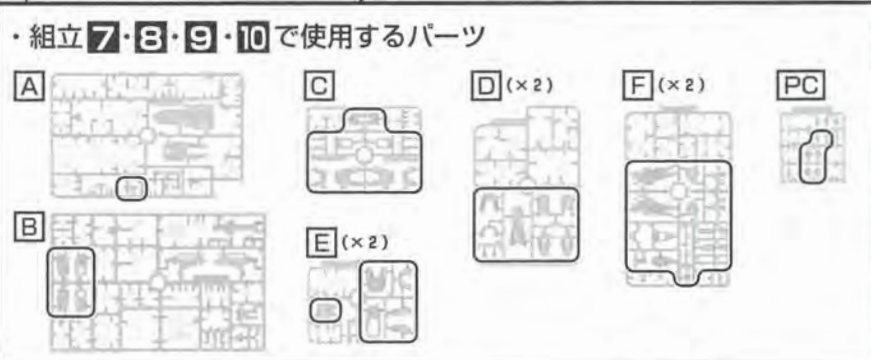
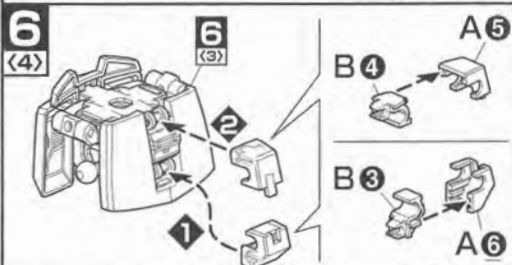
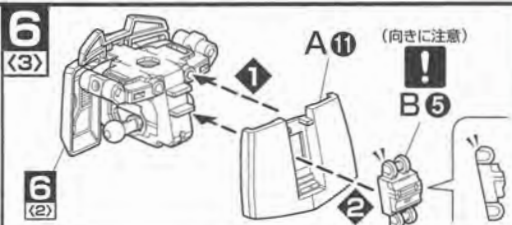
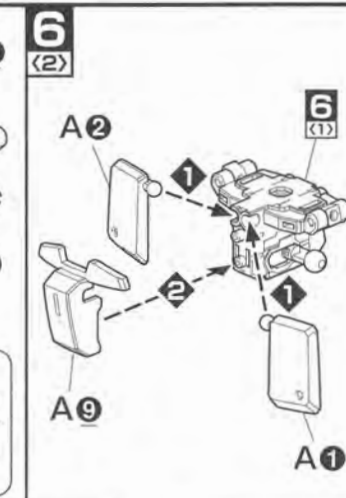
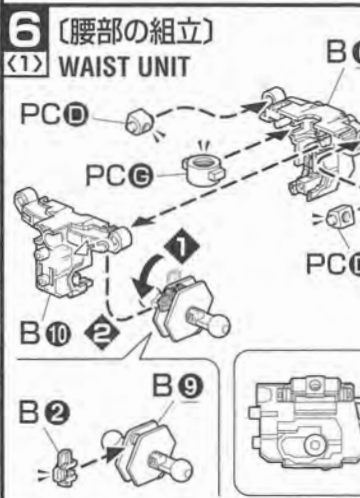
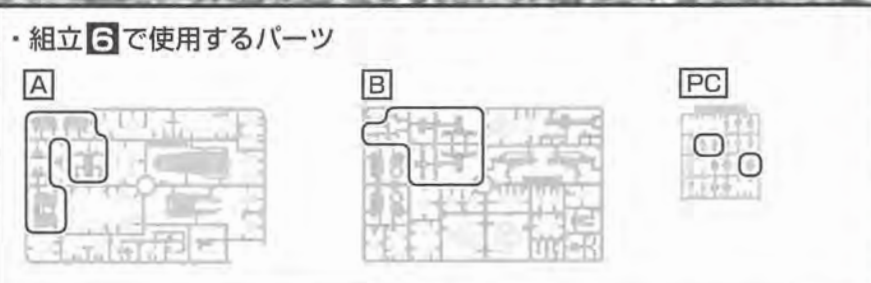
フレーム等のメカ部は、独特の金属感をメタルカラー等で表現してみよう。綿棒で軽く磨けば金属のような光沢が、シリンダー等はメッキシルバーを使う事で、異なる質感を表現出来るぞ。

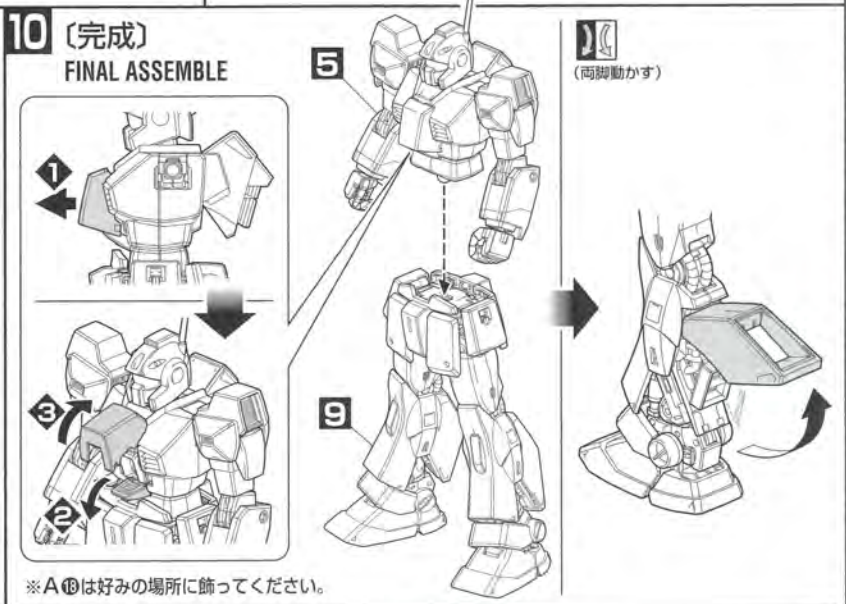
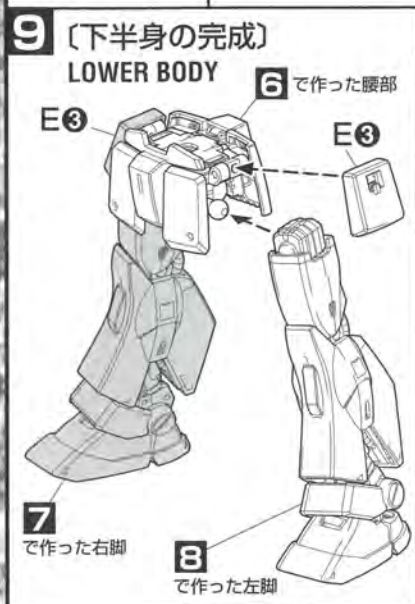
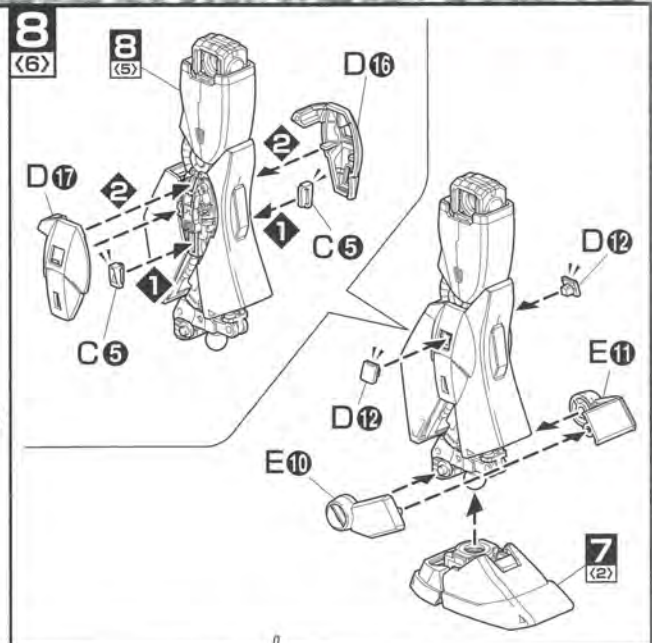
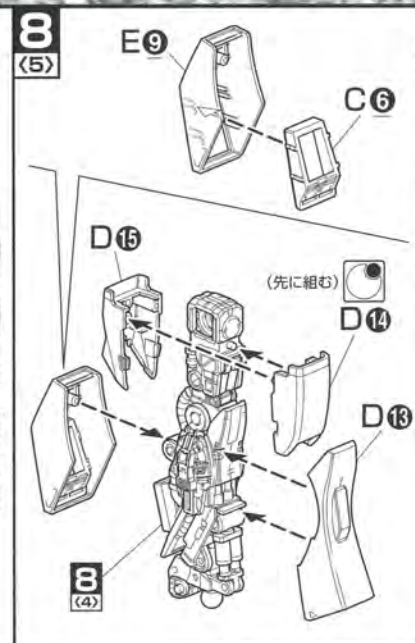
緊張感ある大気圏突入シーンの「ジャブロー降下作戦」。このシーンにはエウゴ、ティターンズ共に様々なMSが登場する。劇中でバリエーションシステムを装備可能なMSも、MGで多数ラインナップされている。MG「百式+バリエーションシステム」のバリエーションシステムを流用して、君の手でジャブロー降下作戦を再現してみよう!! (※商品のバリエーションシステムそのままでは取り付けられません。)

左 MG 百式+バリエーションシステム
 中 MG リック・ディアス(クワトロ・バジーナカラー)
 右 MG ハイザック
 ※上記のプラモデルは別売りです。

※写真の完成品は、塗装してあります。 ※写真・イラストと商品とは、多少異なりますのでご了承ください。







BEAM RIFLE & SHIELD (ビーム・ライフル) (シールド)

MSA-003 ネモは、特殊な兵装を運用することはほとんど想定されていないが、エネルギーチャンネルなどは非常にフレキシブルに設定されており、規格外でなければ既存の武装のほとんどを使用できる。

ビーム・サーベル (BEAM SABER)
リック・ディアスや百式などに採用されたものの同等品。塗装なども製品としてデフォルトのものをそのまま使用している。

ビーム・ライフル (BEAM RIFLE)
ジムⅡが使用しているものの同等品。基本的なスペックも全く同一だが、ネモ側のエネルギーサプライドライバーなどが改良されており、より効率よく運用することができる。

シールド (SHIELD)
ネモの専用装備。スライドによる伸縮が可能。裏面にはオプションラッチが装備されており、上部先端は打突用のアキュートとしても使用できる。

